

コミュニティ・スクール（CS）

校長 吉田 隆

令和四年四月一日に、新潟市の学校は一つの転換点を迎えます。すべての市立小・中・中等・特別支援学校がコミュニティ・スクール（以下CS）に移行することになるからです。

CSとは、学校と地域住民とが力を合わせて学校の運営に取り組むことができる「地域と共にある学校」への転換を図るための仕組みです。

CSに移行しますと、学校運営協議会を組織することになります。それは、保護者代表、地域住民、学校支援者、そして校長、担当教員等最大十五名で構成される組織で、校長の学校運営の基本方針の承認や、教職員の任用に係る意見を述べることができるようになります。つまり、地域と学校が、同じ目線で地域の将来を担う子どもの育成について話し合い、教育活動を進めることができるようになるのです。

さて、CSに移行することによって、新潟小学校に、どのような変化が生まれるのでしょうか？

当校は、教育ビジョンにも示している「地域が学校」の基本理念の下、新潟祭をはじめとする地域行事に参加するほか、「たんぼ盆踊り大会」「古町スライツ」「寄居かぶの栽培」など、学

校と地域協働による活動を数多く行っています。また、教育目標の見直しや新教育課程（新小プラン）の編成においては、学校評議員やPTA役員の皆様と共に検討を重ねてきました。さらに、ウイルス禍の二年間におきましても、様々な活動の在り方について共に考え、取り組んでいます。

このように、新潟小学校の学校運営及び教育活動の足跡を辿りますと、CSが目指す「地域と共にある学校」そのものと言えるのではないかと思います。改めて、地域あつての新潟小学校であり、共に歩んでいたという皆様のお力と心意気に感謝の念が込み上げてきます。

では、CS移行により、新潟小学校に変化はないのでしょうか？教育の方向性が変わることはありませんが、むしろ、大切にしてきた「地域が学校」の理念を補強し、活動を一層発展させる契機になると考えられます。つまり、これまでの取組を加速させるとい意味の変化が生じることです。

新潟小学校はこれからも、教育目標「たくましく 美しく」の具現化に向けて、地域の皆さんと共に歩んでまいります。